

リーグ昇格へ 「奪還 勝利追及」!!



春の日差しが注ぐグラウンドに選手たちの声が響いている。体育館や道場では気合の入った声がかましている。今年もまたキャンパスにフレッシュな新入生を迎えた。年初には男子駅伝部が3年ぶりにシード権を獲得、城西大学のスポーツは好スタートを切った。新しいシーズンの始まり、各部の活躍が期待される。「城西大学スポーツ」(Jスポ)とともに、選手たちに熱いエールを送ろう。

ご入学おめでとうございます



白幡 晶 学長

ご入学おめでとうございます。新入生の皆さんは、新たな可能性を磨くために、本学に入学されたことだかと思えます。城西大学は学生たちが、多くの新しいことに挑戦して、これまでに違う自分を発見し、可能性を広げる環境をできる限り作りだそうと考えています。大学におけるスポーツには、色々な意味があると思います。競技における勝利の栄光を目指す人には、道を極める厳格な場となり、座学だけの生活に物足りなさを感じる人にとっては、若いエネルギーの発散の場ともなるでしょう。また、野球や駅伝、陸上競技をはじめとする全国レベルのクラブに所属する身近な仲間たちが、大きな大会やオンラインで活躍する姿に在学生として心奪われることは、同意の仲間たちとの絆を強し、連帯意識を大きく広げることにもなると思います。それぞれのスポーツに対する思いは、まちまちですが、スポーツを通して目標に近づく体験や、仲間の活躍に心奪われる臨場感、間違いなく学生生活を充実したものにしたいと思います。学生たちが取材を通してつづらけている「城西大学 Sports」は、城西大学の素晴らしい方々のヒントを、皆さんに提供することです。

記者募集
記事を書いてみませんか。初心者でも大丈夫です。新聞記者経験がある職員が取材・書き方を基本から指導します。興味がある学生、やる気がある学生、大歓迎です。写真、イラスト、漫画などでも協力してくれる学生もぜひ参加してください。
連絡はこちらまで j-sports@josai.ac.jp

タレント豊富な前線、即戦力新人に期待 「城西を盛り上げたい」(猿山監督)

サッカー部

期待の選手

平井寛大 (経営3-MF) 中田稜大 (現代政策4-FW) 猪口礎生 (現代政策4-GK)

主将 昨年、埼玉県1部リーグで4連覇がかわらず、関東2部リーグへの挑戦権を得ることができたサッカー部。今年のスロウがはスバリ、奪還勝利を期す。猿山監督は「昨年、埼玉県1部リーグで4連覇がかわらず、関東2部リーグへの挑戦権を得ることができたサッカー部。今年のスロウがはスバリ、奪還勝利を期す。猿山監督は「昨年、埼玉県1部リーグで4連覇がかわらず、関東2部リーグへの挑戦権を得ることができたサッカー部。今年のスロウがはスバリ、奪還勝利を期す。」と意気込みを語った。猿山監督は「昨年、埼玉県1部リーグで4連覇がかわらず、関東2部リーグへの挑戦権を得ることができたサッカー部。今年のスロウがはスバリ、奪還勝利を期す。」と意気込みを語った。



プロフィール
部員数：170人
部長：平塚 潤
監督：猿山 誠
主将：猪口礎生 (現代政策4)
主務：遠城智道 (理学3)

試合日程
3月 天皇杯埼玉県代表決定戦
4月 彩の国カップ埼玉県サッカー選手権大会
5月～7月 アミノバイタルカップ2018埼玉県代表決定戦
6月 埼玉県1部リーグ(前期)
アミノバイタルカップ2018プレオフ

7月 アミノバイタルカップ2018 関東大学サッカー選手権大会
9月～10月 埼玉県1部リーグ(後期)
11月 埼玉県1部リーグ(前期)
12月 関東大学サッカー大会
新人戦

「結束」掲げ 硬式野球部 2年ぶりの1部昇格を目指す

「今年にかける覚悟が出てきた」
練習後の清掃を行ない、3年生が合宿所の清掃を行うなど、結束の具体的な効果も出てきた。
新チームの投の柱は荒川 拓貴(経営4)。これに有力新人がからむ。打の柱は秋山裕磨(経営4、中堅手)と新主将の南 壮流(経営4、二塁手)。チーム打率3割で5点打撃、チーム防御率1.0未満(前年度1.2)を目標とする。部員数は142人と過去最多。有力新人も加えてレギュラー争いは激しさを増す。南主将は「キャプテン



南 壮流 (経営4-二塁手)



秋山裕磨 (経営4-中堅手)



荒川拓貴 (経営4-投手)

としてチームを引っ張ってチームの勝利に大きく貢献し、圧倒的に勝って1部昇格すると再紀を期している。「我輩伯耆」

期待の選手
西澤翔大 (経営4-投手)
田中健太 (経営4-投手)
平野セイ (経営4-投手)
柳沼楽人 (経営4-投手)



取材スタッフ
松岡 遼史 (薬学部6年) 西村健太郎 (薬学部6年) 巻嶋 仁美 (薬学部6年)
本多 里菜 (薬学部5年) 若島 麻未 (経営学部2年) 宝蔵寺佑樹 (現代政策学部2年)
傳法谷佑樹 (現代政策学部2年) 石川 慧 (現代政策学部2年) 西村 太郎 (現代政策学部2年)
金子 地典 (理学部2年)

アドバイザー
短見寺英紀 (2014年度卒業) 吉田英規 (2015年度卒業) 高森潤美 (2017年度卒業)

Jスポ ウェブサイトはこちら
http://www.facebook.com/JOSAI SPORTS

インカレ優勝へ 限界決めず成長を 海外チームとのゲームで収穫と課題

今年の女子ソフトボール部は、大エースと呼ばれる選手はいないが、去年のメンバーがほとんど残った。下の世代も力をつけており、選手層の厚みだけでなく、走塁を絡めた攻撃スタイルで得点を稼ぐのがチームの特徴だ。特にヒップチャームは色々なタイプをそろえている。
9月10日から18日までのハワイ研修では、ハワイ大学とハワイ・パシフィック大学の2校と対戦。投打ともにバフのある相手に対し、オフシーズのトレーニングで積み重ねた守備力と運動力で対抗。海外チームとのゲームで収穫と課題を得た。1週間とは。1年からレギュラーとして活躍している眞鍋真(経営4)が主将となった。眞鍋



ハワイ大学との試合後の集合写真

全日本の決勝へチーム底上げ 昨年はベスト4に進出し3位

昨年の全日本大学選手権でベスト4(3位)と過去最高の成績を取った女子ソフトボール部。今シーズンはエースだった眞鍋真が抜けた穴を打撃でカバーする。打の中心はザード・保科太良、現代政策(経営3)だ。昨シーズン打率3割、本塁打20本という保険は「もうは打つつもり」とどんでん打っていき」と意気込み。
練習は冬から離れた西戸グラウンドで行っている。照明がなく冬は練習時間が限られる。また夏の時期は草取りにも汗を流す。恵まれた環境ではないが、主将の眞鍋真(現現代政策4)は「一番がチームの底上げ。今年もベスト4に進出し3位を目指している」と意気込みを語った。



女子ソフトボール部の選手たち

プロフィール
部員数：30人
部長：木村総一郎
監督：眞鍋真(現代政策4)
主務：宮原康輔(経営3)

ソフトボール部 試合日程
4月 全日本総合選手権埼玉県予選
5月 春季リーグ
6月 関東学生選手権
8月 東日本大学選手権
10月 全日本大学選手権
11月 秋学期リーグ
関東大学選手権

記者の目
入学当初、サークルに入ることは全く考えていなかった。しかし月日が経つにつれ、自分も何かしたいと考えようになった。そんな時に友人からJスポ(城西大学スポーツ)に入らなかと誘われた。正直あまり乗り気ではなかったが、入部を決意した。私は人と話すことがあまり得意ではない。当初は上手く取材できるかどうか不安だった。初めて記事を書いた時の緊張は今でも忘れない。しかし、取材の回数を重ねていくうちに次第に記事がまとまるようになった。私はこのサークルに入って良かったと思う。記事を書いて新聞に載った時の達成感と選手たちに直接インタビュー出来ることは、このサークルの魅力だ。この号ではサッカー部を担当した。上手インタビューできる不安だったが、事前準備をしたおかげでそれなりに取材をすることができた。この1年間で少しは成長できたと思う。スポーツにかかわりたい人、文章を書くことが好きな人、まだ少しでも興味を持った人は、ぜひJスポへ。【傳法谷佑樹】

女子ソフトボール部

男子ソフトボール部

